



神戸のサッカー

1981 7月号

発行所 神戸市サッカー協会
神戸市中央区八幡通2-1-10
三木記念神戸市立スポーツ会館内
〒651 ☎ (078) 232-0753
発行人および編集人 加藤 正信
神戸市灘区上野通6丁目3-12
〒657 ☎ (078) 861-3100

毎月1回10日発行 購読料1部50円

昭和56年度
第25回
兵庫高校総体

御影高 さわやかに初優勝

御影工は西宮東に不覚

昭和56年度、第25回兵庫県高等学校総合体育大会サッカー競技(全国総体予選)は6月8日尼崎スポーツセンターで決勝が行われ、県立御影高がエース加藤、上嶋、そして16歳以下全日本ユース代表に選ばれた和田らの活躍で西宮東を破り初優勝を飾った。

決勝(6月8日尼崎スポーツセンター)

御影高2(0-0)0西宮東高



県高校総体を終えて

高体連技術委員長 佃 幹夫

予想通りの厳しいトーナメントを神戸の御影高校が初優勝した。

大会前半は雨にたたられた悪コンディションに涙を飲んだチームもあったようだが、多くは順調に4回戦、5回戦へと駒を進めた。本年度は但馬地区がよくがん張り、豊岡、豊岡農がベスト32に進出、浜坂がベスト16にくいこむなど但馬のレベルアップぶりを見せた。

ベスト8では伊丹北の進出を阻んだ御影をはじめとする御影工、六甲、星陵の神戸勢と阪神の西宮東、県伊丹、尼崎北、西播磨の飾磨が決勝戦を目指し必死の戦いを展開し、その

結果、近畿大会優勝の御影工を破った西宮東と飾磨に快勝した御影が決勝を争った。勢いに乗る御影は決勝にも底力を発揮し、8月初旬神奈川県で実施される全国総体への出場権を獲得した。

全体的に技術の向上が見られ、あと一步、戦術や作戦に日頃の努力を積み重ねればチーム力の向上が望める学校も多かったと思う。

上位進出校には今回「がん張り」のあるチームが目立った。優勝した御影などは試合毎にヒーローが生れ、すばらしい根性を見せてくれたし、個人的にも星陵高校をベスト8に導いた望月やGKの田中の敢闘精神には多くのプレーヤーが見習うべきものがあつた。

大会優秀選手

- 御影高 丸井正寿、飯田哲也、和田昌裕、上嶋 明
- 西宮東 桑木達生、溝瀬和成、白石正裕、
- 御影工 八木清悟、森野和行、
- 飾磨 齊藤信之、北村正登
- 六甲 堤 康、
- 県伊丹 嶋田鉄也
- 尼崎北 水谷良照
- 星陵 望月康寛

〈注〉総体の記録は紙面の関係で2頁に掲載いたしました。

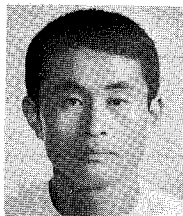
正々堂々と戦おう

長岡 康規

今年度の県高校総体では、1回戦から決勝戦まで合計138試合が行われましたが、県下70余名の審判員の先生方の汗を流しての主審、線審により無事終了することができました。審判員の皆さん、どうも御苦労さまでした。なお、大会中の退場は1件、警告は18件でした。

先ごろ、今大会をふりかえるために審判委員会が開かれましたが、秋にむかえる全国大会県予選では次の2つの基本的な課題に取り組むことになりました。①選手は正々堂々と争うように——主審の判定に対して不服を示したり、相手チームの選手を侮辱、中傷、挑発したりする言動があれば、審判員はたとえ笛を吹くのがついつい遅れる駆け出しの人でも、同じスポーツをする者としてこれは自信をもって注意、警告してゆく。②会場設営は審判しやすいように——まず、各会場校にコーナーフラッグを配布する。また、ラインズマンフラッグ、黄、赤カードを備え置く。

審判員の皆さん、それに指導者、選手の皆さん、これから高校生らしいさわやかな試合ができるようがん張りしましょう。



優勝に導いて

県立御影高校

監督 森田 哲哉

今年のチームはレギュラーに3年生が少ないということで万一接戦になった時、精神面でのよろさが出はしないかという一抹の不安があつた。しかし、今大会においてはその若さが良い面に出て、チーム全体が試合ごとに勢いづいてきたのは嬉しい誤算であつた。

この大会で伊丹北戦が一つのポイントだったように思う。前半相手ペースで試合が進み苦戦を強いられ、相手のシュートミスにも助けられ、失点を最少数におさえ、前半終了間際に同点に追いつき、試合の流れを変えることができた。この試合で苦戦をしながらも勝負に勝ったことが優勝を狙う過程において非常に大きな力となったと思う。次の六甲戦は互いに手の内は良く分かっており、堤(六甲⑩)に加藤(御影④)、中野(六甲⑧)に上嶋(御影⑩)をつけて六甲の攻撃を完全に封じたことが勝因だったと思う。準決勝で

御影工が敗れるという善狂わせがあり、この大会の目標であつた。「何としても御影工と決勝で戦いたい」という目標がなくなって精神的な崩れが出る不安があつたが、それも取り越し苦労に終わった。

決勝においては技術とか戦術とかいう問題でなく、日頃の苦しい練習に耐えてきたかどうかの差が勝敗を決定したのではないかと。

現在のチームは対六甲戦の上嶋、加藤のごとく選手全員が目立たないところで自分のなすべきことを忠実にできるチームである。チーム・プレーに徹し、指示したことを8割方実行できる選手を得ることができたのは指導者として、この上もなく恵まれていたと思う。

全国総体においてFWには突破のスピードをつけさせると同時に守備をした後の攻撃でも相手に走り勝てるスタミナと、ロングパスに対してのフォロー・アップができる運動量の多いHBの養成にポイントをおき、BK陣には身体を張ったプレー、特にヘディングでの強い競り合いと、深いスライディングタックルを身につけさせることを当面の課題としてやっていきたい。

最後に、今回の優勝までご後援下さり、励ましのお言葉をいただいた皆様に、この紙上をお借りして厚くお礼申し上げます。

第14回 全国高専大会 神戸で開催

8月17日から市内3会場で



大会の主管校として運営に、
そして成績に注目される神戸高専

第14回全国高等専門学校サッカー選手権大会は今年8月17日から21日まで神戸市立中央球技場を主会場に、全国から予選を勝ち抜いた代表15チームと地元主管校神戸高専の計16チームが参加して行われる。

高等専門学校は、中学卒業からの5年制の学校で、現在全国に62校（国立54、公立4、私立4）がある。そのうち5校が商船高専で他は全て工業高専である。

スポーツの面では、学校数が少ないこと、実験実習が多く練習時間が不足することなどのため、どうしてもレベルは上りにくい。しかし、入学から卒業まで受験勉強にわずらわ

されることなく、クラブ活動に5年間打込める利点はある。サッカーにおいても比較的長期のチーム作りが可能であり、相当なレベルを保っている学校も少なくない。

高専の全国大会は、過去各地域で開かれてきたが、関西では、今夏初めて神戸で開催される。日程と会場は、

8月17日(月) 開会式 神戸中央球技場
18日(火) 1回戦 磯上、王子 ヶ
19日(水) 2回戦 磯上、王子 ヶ
20日(木) 準決勝 神戸中央球技場
21日(金) 決勝 神戸中央球技場

の予定であり、参加は16チームで、次の地域

から予選で代表が7月末までに決定される。

北海道	1校	関西	2校
東北	1校	中国	2校
北信越	1校	四国	1校
関東	3校	九州	2校
東海	2校	主管校	1校(神戸)

神戸高専は、主管校として出場が決っており、関西より他に2校出場することになっている。

過去の大会記録を見ると、最近では、鹿児島が圧倒的な強さを示しており、今年も優勝候補の筆頭である。関西地域での入賞は、第3回優勝の大阪（現、摂南大学）、第4回準優勝の神戸、第8回同じく舞鶴のみで、最近特に関西代表の不振が続いている。

兵庫県には、明石高専と神戸高専の2校があり、今回の神戸開催を期に、関西のレベルアップをはかりたいものと考えている。

関係各位の御指導、御鞭撻と御協力をお願いする次第である。

「全国大会をめざして」

神戸高専サッカー部 主将 小崎晴男

今年はポートピアの'81を記念して、神戸で全国高専サッカー大会が開催されることになりました。神戸高専はその主管校としてすでに出場が決まり、OBの方々や諸先生の期待も大きく、責任の重大さを感じています。

練習試合や岐阜遠征などを通して、チーム力も徐々にアップしている状態にあり、チーム全員が決勝戦進出めざして、練習に励んでいます。皆さんのご後援とご協力をお願いします。

御影工 総体の雪辱

兵庫県民体育大会サッカー

兵庫県民体育大会サッカー競技少年の部は県下8チームが参加して、六甲高の外3会場で6月6日から21日まで4チームづつの予選リーグとその上位2チームづつによる決勝トーナメントが行われた。その結果、県高校総体準決勝で西宮東に不覚をとり涙をのんだ御影工が、県下実力No.1の貫ろくを見せ予選リーグ、決勝トーナメントとも無敗で見事初優勝をとげた。

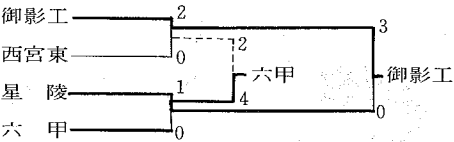
兵庫県民体育大会は、国民体育大会サッカー競技少年の部の兵庫県代表選手を選考するためのもので、昨年までは4月上旬に高体連の7支部選抜チームによる赤川杯（現県協会副会長赤川公一氏寄贈）をかけて実施していた。しかし、これまでの方法では多大の経費と時間を要するというので、今年より同大会を6月の高校総体に引き続いて実施することになった。

なお、今年の参加資格は、県高校総体ベスト8に残ったチームで、今回は御影工、星陵、六甲、御影の8チーム。

A	御影工	星陵	県伊丹	飾磨	勝点	得失	差	順
御影工		05 ⁽¹⁻⁰⁾ 1	07 ⁽⁵⁻⁰⁾ 1	03 ⁽¹⁻¹⁾ 1	6	15	3	1①
星陵	×1 ⁽⁰⁻¹⁾ 5		△2 ⁽⁰⁻⁰⁾ 2	02 ⁽¹⁻⁰⁾ 0	3	5	7	-2②
県伊丹	×1 ⁽⁰⁻⁵⁾ 7	△2 ⁽⁰⁻⁰⁾ 2		×0 ⁽⁰⁻¹⁾ 2	1	3	11	-8
飾磨	×1 ⁽¹⁻²⁾ 3	×0 ⁽⁰⁻¹⁾ 2	02 ⁽¹⁻⁰⁾ 0		2	3	5	-2

B	西宮東	尼崎北	六甲	御影	勝点	得失	差	順
西宮東		05 ⁽¹⁻⁰⁾ 0	×0 ⁽⁰⁻¹⁾ 5	01 ⁽⁰⁻⁰⁾ 0	4	6	5	1②
尼崎北	×0 ⁽⁰⁻¹⁾ 5		×1 ⁽⁰⁻²⁾ 2	03 ⁽¹⁻²⁾ 2	2	4	9	-5
六甲	05 ⁽¹⁻⁰⁾ 0	02 ⁽⁰⁻¹⁾ 1		×0 ⁽⁰⁻⁰⁾ 1	4	7	2	5①
御影	×0 ⁽⁰⁻¹⁾ 1	×2 ⁽¹⁻²⁾ 3	01 ⁽¹⁻⁰⁾ 0		2	3	4	-1

◎決勝トーナメント（準決勝・3位決定・決勝）



第32回 五大都市体育大会神戸で開催

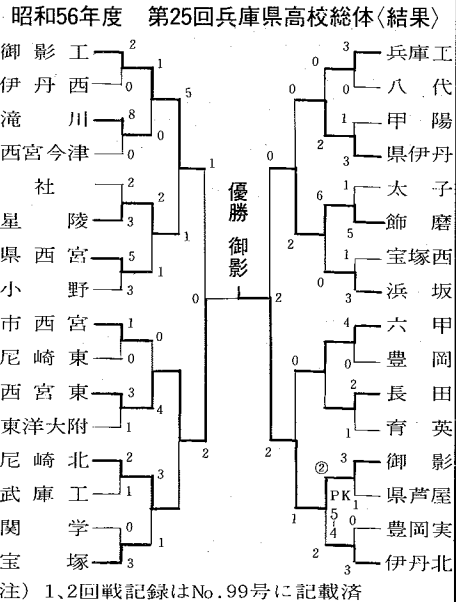
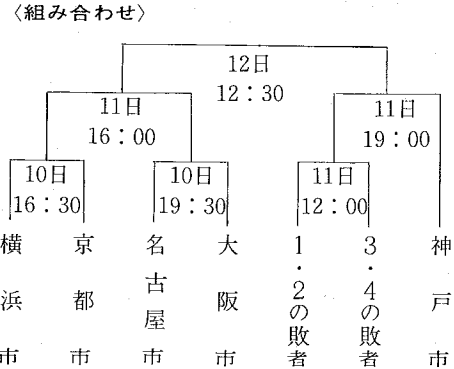
～ポートピア'81を記念して～

第32回五大都市体育大会サッカー競技は、7月10日から12日まで神戸中央球技場で開催される。順番でいけば昨年在神戸市の当番であったが、ポートピア81記念大会とするため昨年は横浜市と交代してもらった。

五大都市大会でのサッカー競技では近年優勝しておらず、地元開催の今年は是が非でも勝ちたいところ。

〈メンバー〉

監督 前野正、主務 岡本隆英、選手 福山嘉夫、八木重光、山本高史、市川雄一、川端剛、水野修、桜木浩二、岸井謙児、山田仁彦、関根繁、高田裕士、林啓太（以上兵庫教員）前田正司、平井隆晴、岡中正安、松岡泰典（以上三菱神戸）



神戸のサッカー100号の歩み

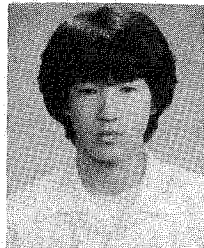
その2

号数	組織・施設外	主 な 競 技 会				
発行日	主 な 記 事	第 1 種 (一般)	第2種(高校生年齢)	第3種(中学生年齢)	第4種(小学生年齢)	第 5 種 (女子)
22 号 合併号 49.12.1	・神戸のユース育成論 ・レク・リーグ ・ニュース編集を上野勝幸氏が担当 ・神戸市少年指導者コーチングスクール	・第1回神戸市社会人リーグカップ ・県社会人中央大会 ・第23回神戸市総体(川鉄)優勝 ・神戸市社会人リーグ	・茨城国体県代表敗退	・第8回県中学大会神戸市予選	・県スポ少神戸予選3部(小6)	・同左Ⅶ部(小女子)
23 号 50.1.1	・ペプシコ(株)ニュース発行のスポンサーとなる。 ・年頭の辞、神戸市協会会長 ・「私の夢」神戸市理事長 ・中央球技場の芝を育てる福田正夫氏 ・ワールドカップ観戦記	・関西トーナメント兵庫教員団優勝、関西リーグ入りならず ・神戸市社会人リーグチームの抱負 ・第1回兵庫カップ ・神戸市社会人2部リーグ		・第7回兵庫大会優勝チーム1部(2、3年)上野中、2部(1年)御津中	・同左 優勝チーム3部(小6)潮、4部(小5)みどり丘、5部(小4)三木小	・同左 優勝チーム6部(中)高倉、7部(小)北五葉
24 号 50.2.1	・ベレ来日 ・育成協だより ・ワールドカップ観戦記 ・ミニサッカー講習会 ・西日本OB連盟設立総会と大会	・神戸市社会人リーグカップ ・神戸市社会人入替			・第2回神戸市少年大会蓮池A優勝	
25 号 50.3.1	・第4回神戸市フェスティバル ・神戸市青少年指導者会議 ・西日本OB神戸大会 ・ワールドカップ観戦記	・第2回兵庫カップ新日鉄広畑優勝 ・神戸市リーグカップ ・第55回天皇杯県予選 ・神戸市民大会		・神戸市新人大会	 第1回神戸市社会人リーグカップ神戸FC優勝	
26 号 50.4.10	・ワールドカップ観戦記 ・西林恵三「サッカーと私」	・第1回神戸市社会人リーグカップ神戸FC優勝 ・第5回県都市対抗三木市優勝 ・第55回天皇杯県予選日程 ・神戸市社会人リーグ戦要項	・県新人大会優勝戦県尼崎1ー1淳心	・神戸市中学新人戦		
27 号 50.5.10	・神戸市フェスティバル ・松田憲三「サッカーと私」 ・ワールドカップ観戦記	・第27回近畿大会神戸高校準優勝 ・神戸市高校選抜			・神戸市スポ少リーグ ・第7回神戸市少年団リーグ成徳優勝 ・神戸少年スクール創立10周年記念祭	
28 号 50.6.10	・神戸市協会新人事「加藤理事長勇退」 ・神戸FCだより	・第17回神戸市民大会三菱重工A優勝			・県育成協だより	
29 号 50.7.10	・坂根竜男「サッカーと私」 ・人物像「河本会長」 ・加藤副会長を日経新聞紹介	・関西社会人リーグ前期三菱重工首位 ・五大都市大会	・天津チーム来神中 ・県高校総体尼崎高優勝、全国総体へ	・全国中学生大会神戸市予選上野中優勝 ・西ドイツスポーツユーгент来神		
30 号 50.8.10	・県協会だより	・神戸市社会人リーグ戦績 ・第26回五大都市大会 ・天皇杯県大会 ・神戸市協会レクリーク	・天津チーム再見	・第5回サマーフェスティバル	・同左 ・神戸市スポ少リーグ	
31 号 50.9.10	・ワールドカップ観戦記 ・中村久氏県体育功労賞受賞 ・神戸市第2回少年指導者講習会 ・加藤寛「サッカーと私」 ・磯上ナイター設備完成 ・神戸市協会保管フィルム	・第3回兵庫カップ ・第30回国体関西予選		・第5回サマーフェスティバル成績 ・神戸市総体高倉中優勝 ・全国中学大会上野中敗退	・同左	
32 号 50.10.10	・ルールの改正 ・ワールドカップ観戦記	・神戸市協会レクリーク ・神戸市総体組合せ	・国体出場県高校選抜メンバー	・近江達氏フェスティバルでの研究会を顧みて、④ボールを	・神戸市スポ少リーグ戦績	

号 数	組織・施設外	主 な 競 技 会				
発行日	主な記事	第1種(一般)	第2種(高校生年齢)	第3種(中学生年齢)	第4種(小学生年齢)	第5種(女子)
32 号 50.10.10	・原田観「サッカーと私」			持てる少年の育成㊦審判		
33 号 50.11.10	・「兵庫のサッカーを考えよう」原稿募集 ・50.10.16、第3種郵便物認可 ・山崎みや子嬢「サッカーと私」	・第24回神戸市総体川崎製鉄優勝 ・関西社会人リーグ三菱電工神戸優勝 ・第55回天皇杯関西大会 ・県社会人中央大会	・第24回神戸市総体神戸高校優勝 ・全国総体県予選兼県高校選手権大会		・第3回神戸市大会 ・神戸市スポ少リーグ戦績	・神戸市スポ少リーグ戦績
34 号 50.12.10	・天皇杯準決勝予告 ・サッカー写真のとり方 ・第5回JFAコーチングスクール参加報告㊦(加藤寛)	・兵庫社会人中央大会川崎製鉄優勝 ・神戸市社会人チーム登録受付 ・関西学生リーグ	・三重国体県高校選抜優勝 ・全国総体県予選神戸高優勝			
35 号 51.1.10	・年頭の辞、神戸市協会会長、理事長 ・岡野俊一郎氏講演 ・第5回リッダー養成講習会 ・第5回JFAコーチングスクール参加報告㊦(加藤寛) ・「日本代表をモントリオールへ送ろう」シール運動	・関西社会人大会成績	・全国総体組合せ	・県中学校大会結果大庄北中優勝	・第3回市大会ベスト8 ・少年サッカーの歩み10年	
36 号 51.2.10	・発刊満3年を迎えて「五つの信条」 ・「兵庫のサッカーを強くするには」原稿1通 ・岡村敏氏「サッカーと私」	・第2回市社会人リーグカップ組合せ ・県都市対抗組合せ ・兵庫教員団関西リーグ昇格	・全国総体神戸高惜敗 ・県高校新人大大会市予選神戸高、六甲高共に優勝 ・県高校新人大大会組合せ	・神戸市中学新人大大会組合せ	・育成協だより ・市少年大会 ・県少年大会	・女性サッカーのすすめ ・県少年大会
37 号 51.3.10	・第5回神戸まつり予告 ・第5回JFAコーチングスクール参加報告㊦(加藤寛) ・西日本OB大会	・県都市対抗神戸市優勝	・県高校新人大大会兼近畿高校新人大大会県予選	・市中学新人大大会	・市少年指導者講習会終了者リスト	
38 号 51.4.10	・神戸まつりの結果 ・県1級審判員 ・西日本OB大会	・天皇杯県大会組合せ ・51年度市社会人リーグ開幕 ・第2回市社会人リーグカップ ・神戸市民大会組合せ ・神戸市社会人リーグブロック分け	・近畿大会神戸高惜敗		・神戸市スポ少リーグ ・神戸市協会少年委員会年間行事	
39 号 51.5.10	・磯上グラウンド更衣室完成 ・神戸市4級審判講習会	・関西社会人リーグ ・天皇杯県予選 ・レクリング参加募集	・三重国体県代表、県スポーツ優秀選手賞受賞と韓国遠征 ・県高校総体兼全国総体県予選組合せ		・神戸市スポ少リーグ開幕	
40 号 51.6.10	・神戸市協会総会 ・西邑昌一「サッカーと私」	・神戸市民大会結果 ・天皇杯兵庫大会		・全国中学大会神戸市予選	・県スポ少研修会 ・市少年団リーグ	・KFCレディース第2回全国ミニサッカー大会準優勝
41 号 51.7.10	・県協会総会	・県社会人リーグ前期 ・関西社会人リーグ ・五大都市大会	・県総体長田高優勝 ・釜山市代表来神 ・神戸高桜木日本ユース代表に	・神戸市民大会鷹匠中優勝	・普及の必要性	
42 号 51.8.10		・天皇杯県予選神戸大優勝 ・五大都市大会 ・神戸市社会人リーグ	・日韓親善試合 ・神戸市総体	・西日本サマーフェスティバル ・神戸市総体魚崎中優勝	・榎谷能彦「ぼくの夢」 ・神戸市スポ少リーグ前期終了	・女子サッカーのすすめ
43 号 51.9.10	・コスモス対全日本ベレ来神	・神戸市リーグ前期終了 ・関西リーグ後期 ・神戸市レクリングⅢ部	・釜山選抜快勝 ・頑張れ桜木浩二	・サマーフェスティバル清水が5部とも制覇 ・第20回県中学総体優勝姫路・灘中	・神戸市スポ少リーグ	
44 号 51.10.10	・ベレの神技 ・第7回JFAコーチングスクール参加報告(岡本隆英)	・関西学生選抜対ウグアイ学生選抜 ・天皇杯関西大会	・全国総体県予選の予想 ・佐賀国体出場チーム	・第6回サマーフェスティバル	・神戸市協会少年教室 ・神戸市スポ少リーグ	
45 号 51.11.10	・神戸市総体功労賞に北川貞義氏、桜木選手 ・県協会リーダー講習会 ・林幸男「サッカーと私」 ・足の裏 ・中央球技場の芝 ・神戸F C会館完成	・神戸市総体優勝六甲ヒルケル ・神戸市社会人リーグ ・県リーグ川崎製鉄優勝 ・関西社会人リーグ	・神戸市総体優勝長田高	・県中学選手権大会へ神戸市6代表	・神戸市スポ少リーグ	
46 号 51.12.10	・天皇杯2回戦、準決勝	・県中央大会ベスト4 ・レクリング結果	・全国総体県予選優勝神戸高、岡野俊一郎氏「決勝戦を見て」 ・佐賀国体	・県大会優勝塚口中(尼崎) ・第9回県少年大会	・第9回県少年大会	
47 号 52.1.10	・年頭の辞、神戸市協会会長 ・釜本選手を囲んで ・長岡1級審判員誕生 ・リーダースクール	・関西社会人大会 ・神戸市社会人リーグ成績	・全国総体出場の神戸高 ・県新人大大会神戸市予選		・東灘のミニサッカー大会 ・神戸市少年大会	

全日本ユース代表(16歳以下)に和田昌裕

ーライオン・シティー・カップに出場ー

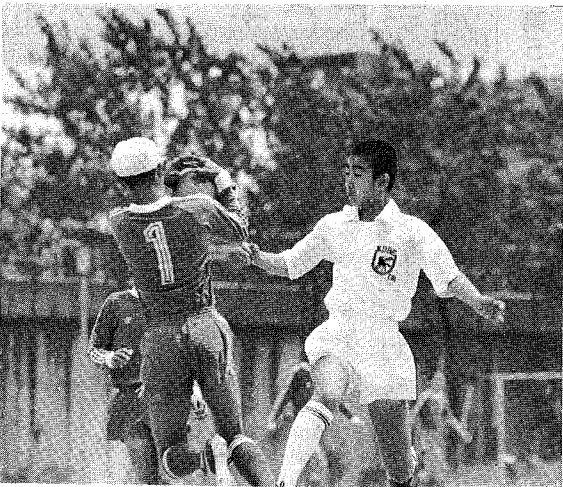


かねてからナショナル・トレーニング・センター(NTC)で有望視されていた御影高の和田昌裕は、このほどシンガポールで9月に行われるライオン・シティー・カップ(16歳以下のアジア各国代表が出場)に派遣される全日本ユース代表に選ばれた。このことは和田自身にとっては、将来の全日本代表につながる大きなチャンスであり、関係者からその活躍が期待されている。桜木浩二(現須磨東高教諭)以来、有望選手を輩出していない神戸のサッカー界としては彼の成長ぶりを温かく見守ってゆきたいものだ。

和田は8歳でボールをけり始めた。そのきっかけは神戸少年サッカースクールの入校でボールけりに大いに興味を覚えた。2年後、小学4年生の時、神戸FCジュニア(現同ボーイズ)に入り、黒田和生氏の指導でその頭角を表し始めた。少し腰高だが、上半身が起きて自然体でボールを持ち、一歩でスピードがグッと出る。ウイング地帯からゴール前に走り込んで得点する感覚はこの頃身についた。

中学生になると、神戸FCジュニアと上野中学サッカー部(当時山名康久氏指導)の両方をかけもち、一年生の時、サマー・フェスティバルでの活躍が認められて井上教文(現神戸FCユース)とともにセントラル・トレーニング・センター(CTC)の一員に選ばれた。以来、何度かスランプもあったが、持前のねばり強い性格でこれを克服し、独自のフェイントとパス感覚を身につけた。ことに

和田昌裕(わだまさひろ)プロフィール
・生年月日: S40年1月21日
・身長: 174cm
・体重: 62kg
・50m走: 6.8秒
・目標とする選手: フライトナー(西独)釜本邦茂(ヤンマー・ディーゼル)
・将来希望する職業: サッカーを生かした職業
・趣味: 音楽鑑賞(フォークソング)
・家族: 両親と弟、妹、の5人家族。



52年度全国中学校大会神戸市予選 垂水対上野戦ヘディング・シュートをねらう和田(白)

兵庫県高校総体とシンガポール行き

県立御影高校 和田昌裕

“念願の優勝”

全国高校総体出場権獲得。

まるで夢のようだ。今だに信じられないような気もする。御影高にとっても創立以来初めてののできごとだそう。今回の総体は決して優勝候補に挙げられていたわけでもなく、しかも抽選に恵まれていたわけでもない。最後まで実力を発揮し、試合を捨てなかった御影高の精神力、忍耐力、闘志あふれるプレーが対戦したチームよりもまさっていたからこそ「優勝」という大きな仕事を成し遂げられたのではないかと思う。自分としても、今回はコンディションも最高で絶好調といってもよいほど調子は良かった。でも接戦の試合で点は決めたものの、チームの足を引っばるようなプレーが多かったように思えた。例えば、今パスをすれば徹底的なチャンスが生まれそうであるという場面でも、もう一人抜こうとして取られて速攻を食らったり、取られたボールを取り返しに行こうとしなかったり、本当に簡単に当たり前のプレーができていなかった。

また、兵庫のサッカーは厳しさが足りないような気がした。八月には全国大会に行くわけだが、いずれのチームをもっと厳しいサッカーをしてくと思う。それに耐えられるだけの厳しいサッカーができるように今後一日一日の練習を大切にしていきたい。そして、兵庫県No.1の地位を汚さないような結果を生みたい。

兵庫県高校総体優勝以上に信じられないのがシンガポール行きメンバーに選ばれたことだ。これはライオン・シティー・カップといって、シンガポールで開かれるアジアの大会に日本ユース代表(16歳以下)として参加するものである。サッカーを始めた頃からの夢である海外遠征ができるとは思っても見なかった。このチャンスを是非ものにして、全日本代表に少しでも近づけるようがんばりたい。そして、試合に出た時は失敗を恐れずに、普段のプレーができれば最高。今後、夏バテないように体力をつけるという面にも気を配っていきたい。

第2回兵庫県中学生大会

昨年から行われるようになった兵庫県中学生選手権大会は、5月31日から県下12支部を勝ち抜いた代表が参加して西宮東高校を主会場に行われ、6月14日の決勝で淡路代表の辰美中学が北播代表の別所中を破り見事初優勝した。

神戸市代表の神戸FCジュニアBは1回戦でこの辰美中と対戦し、2年生以下でチーム編成した神戸FCは辰美中のスピードについて行けず5-0で敗れた。神戸市代表は昨年に引き続き2年連続1回戦で淡路代表に敗れたことになる。

大会全般を通じ、辰美中の圧倒的なゲーム展開が目を見張らせ、残念ながら辰美中と互角に争えるチームは神戸市内では見当たらないようである。今後の指導者のがんばりに期待したいと思う。

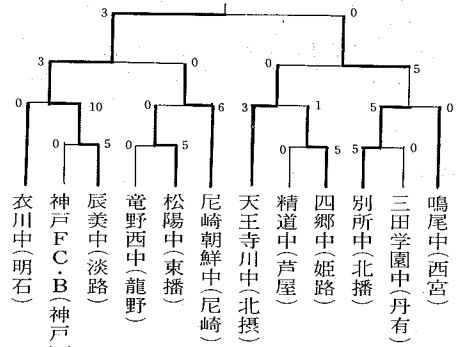
大会全般的を通じ、辰美中の圧倒的なゲーム展開が目を見張らせ、残念ながら辰美中と互角に争えるチームは神戸市内では見当たらないようである。今後の指導者のがんばりに期待したいと思う。

決勝は予想通り準決勝で尼崎朝鮮中を破った辰美中と、天王寺川中(北摂)を破った別所中(北播)の戦いであった。スピードとパワーの辰美中、コンビネーションの別所中と興味ある対決であったが、前半10分辰美中のエー

辰美中(淡路)圧倒的な強さ

ス斎藤(正)の個人技から左30度のシュートが決まり、以後辰美中のペースで展開された。中盤をかきまわす小丸、パワーの川上、スピード、テクニックの斎藤(正)と攻守に多様な人材を要す辰美中の破滅力に別所中も成すすべがなかった。前半終了間際右コーナーキックをエース斎藤(正)が、別所ゴールキーパーの背後からまわり込み、ダイビングヘッドで試合を決めた。(県第3種委員長 白石幸夫)

第2回兵庫県中学生大会結果



西淡FC前期無敗

兵庫県リーグ
KFC'70も
関西社会人大会へ

昭和56年度兵庫県リーグは、関西リーグから降格してきた新日鉄広畑を含め9チームによる総当たり戦で4月12日に開幕され、6月28日前期36試合が終了した。その結果、8戦全勝の西淡FCがトップで前期を折り返えし、神戸FC'70が5勝2分1敗でこれに次いでいる。3位には混戦からかろうじて抜け出した明倫と、

双和が入り、この前期上位4チームが8月に行われる関西社会人選手権大会に出場する。その他、神戸市関係のチームでは昨シーズン前期2位で折り返えした神戸FCユースが今年は失点が多く2勝3分3敗で5位と少し元気がない。また、兵庫朝鮮は5月24日対神戸FC'70戦で、人数不ぞろいのため棄権となり、9位が決定。都市リーグへの降格が決まっている。

昭和56年度 兵庫県リーグ前期成績(勝○、引分け△、負●、棄権□、棄負■)

順位	チーム名	西淡FC	KFC'70	双和	明倫	KFC'70	新日鉄広畑	三木FC	日能姫路	兵庫朝鮮	勝点	得点	失点	点差
1	西淡FC	○	1-0	3-0	1-0	1-0	2-1	1-0	5-1	1-0	16	15	2	13
2	神戸FC'70	●	○	3-0	0-0	4-1	3-0	0-0	3-0	1-0	12	19	3	16
3	双和クラブ	○	0-3	○	1-2	3-4	5-1	3-1	2-0	2-1	8	16	15	1
4	明倫クラブ	○	0-1	○	2-1	○	3-3	1-3	1-1	4-1	8	12	11	1
5	神戸FCユース	○	1-4	4-3	3-3	○	0-1	0-0	3-3	1-0	7	12	15	-3
6	新日鉄広畑	○	1-2	0-3	1-5	3-1	○	0-0	2-1	1-2	7	9	14	-5
7	三木FC	○	0-1	0-0	1-3	1-1	0-0	○	1-2	5-0	6	9	8	1
8	日本船廠姫路	○	1-5	0-3	0-2	1-4	3-3	1-2	2-1	○	5	13	20	-7
9	兵庫朝鮮蹴球団	○	0-1	0-5	1-2	1-1	0-1	2-1	○	0-5	3	4	21	-17

第5回

全日本少年サッカー大会
兵庫県大会神戸FCボーイズ連続V²大健闘
揖保(西播)も

第5回全日本少年サッカー大会兵庫県大会は6月14日、21日の2日間、尼崎市立スポーツセンター・サブグラウンドで開催され、神戸代表の神戸FCボーイズが西播代表の揖保少年団をPK戦の末、降し、2年連続全国大会の出場権を獲得した。

また、同大会を記念

して、これまで長年少年サッカーの普及に功労のあった加藤正信氏(県協会参与、神戸市協会副会長、神戸FC名誉副会長)、堂本晋三氏(明石市協会会長、松が丘サッカークラブ監督)に日本協会より功労賞の表彰と感謝状が授与された。

▷決勝(6月21日尼崎スポーツセンター)

神戸FCボーイズ 1-0 揖保少年団
PK 4-2

決勝は実力ナンバー・ワンの揖保少年団と名門神戸FCボーイズが対戦し、泥沼の中白熱した好ゲームを展開した。神戸FCは立ち上がり早々、石井が先取点をあげたが、揖保も10分後新宮が振り向きざま15メートルのロ

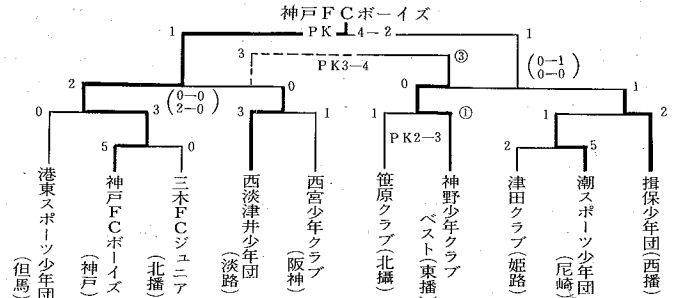
ングシュートを決めて試合を盛り上げた。後半は双方スピード、迫力満点の攻撃をしかけたが得点なく、延長戦にもつれ込んだ。泥まみれのチビッ選手熱心はすさまじく延長もついに無得点。PK戦では4-2と神戸FCに勝利の女神が輝き7月27日の東京行切符を手に入れた。

今大会は新たに北摂地区が加わり、県下10地域137チームが予選に参加した。その中から10代表が県大会に出場したが、どの地区も技術的な差が見られず、その日の調子で勝敗が決まっているようだ。また、選手、指導者のみならず父兄も熱心に大会に取り組む姿勢がうかがわれ、各地の少年サッカーに対する意気込みが感じられた。

なお、指導者の方々には小学生年齢からた



第5回 全日本少年サッカー大会兵庫県大会



だ単に勝つことのみに終始せず、長い目で見た指導と人間教育をお願いしたい。(師田二郎)

月刊「神戸のサッカー」100号記念

ミニ・サッカー大会

参加チーム募集

〈大会要項〉

- 主催 神戸市サッカー協会
- 協賛 モンブラン株式会社
- とき 昭和56年9月15日(祭) 9~15時
- ところ 神戸市立磯上球技場
- 雨天 小雨決行。中止の時は11月3日
- 出場資格 月刊「神戸のサッカー」読者
- 参加料 1チーム 500円
- 表彰 各グループ別1~4位にトロフィーを贈呈。
- 参加賞 参加者全員に記念バッジを贈呈。
- 試合方法①年齢および性別で次の12グループに分ける。〈男子の部〉第1G・一般社会人(16)、第2G・高校生年齢(16)、第3G・中学生年齢(20)、第4G・小学5、6年(20)、第5G・小学3、4年(20)、第6G・小学1、2年(20)、第7G・40歳以上(8)、第8G・50歳以上(8)、第9G・障害施設、〈女子の部〉第10G・高校生以上(8)、第11G・中学生(8)、第12G・小学生(16)
- ②4チームづつの予選リーグの後決勝トーナメントを行う。組分け抽選は協会が行う。
- 申し込み方法 官製バガキに①チーム名、②連絡責任者、③住所、④電話、⑤参加したいグループ別、⑥選手氏名(10名まで)を

記入の上、神戸市協会まで送付する。

なお、協会に登録しているクラブは2チームまで申し込むことができる。12申し込み締め切り 8月20日(休)必着のこと各グループとも定数になりしだい締め切ります。参加決定チームには協会より、各チーム責任者あて電話連絡します。

“自分のために、子供のために”
市少年指導者講習会前期終了

昭和56年度神戸市少年サッカー指導者講習会は5月29日開講した。参加者は69人、すごい活気のなか前期6回目を7月3日に行い前期を終了した。今年は毎週金曜日、磯上の三木記念スポーツ会館で45分間の講義のあとグラウンドで約80分間実際にボールをけて汗を流した。

8日目を迎えたこの講習会は過去113人の修了生をだし神戸の少年サッカーを推進する大きな力となっている。今年の受講生(66人)の傾向では女性が9人と多いことと、二度目以上の受講の方が26人と多いのが特徴だ。

開講式で一北四郎理事長から激励の言葉をうけた時は緊張気味だった受講生も次第になれて和気あいあいの楽しいムードにそまっていた。今年のテーマは「自分のために、子供のために」である。

なお、後期は9月上旬から始まる予定。

◇前期担当者

▷5/29講義「日本サッカー界の現状」一北四郎、実技=黒田和生、▷6/5講義「少年サッカー指導法」黒田和生、実技=加藤寛、▷6/12講義「審判法」岩崎壮光、▷6/19講義「グッド・ゲーム」黒田和生、実技=岡俊彦、▷6/26講義「審判法」岩崎壮光、▷7/3講義「救急法」黒田和生、実技=黒田和生

◆おわびと訂正

100号記念紙で下記に誤りがありましたのでおわび申し上げます。

○1頁右段下から4行目(誤)攻→(正)責。

○2頁写真説明文(誤)築→(正)筑。○7頁左段▷3種へは(誤)15→(正)16歳。▷4種へは(誤)12→(正)13歳。中段4行目、関西連盟(誤)500円→(正)1,000円で兵庫連盟は徴収していない。下の表、第3種委員会(誤)15→(正)16、第4種委員会(誤)12→(正)13。○8頁上見出し(誤)連破→(正)連覇。兵庫協会役員一覧表で藤原恵常務理事都市協会委員が抜けていました。以上悪しからずご了承下さい。編集委員長 中村寿男

個人購読のご案内

弊紙を個人で購読ご希望の方は、1年分として70円切手12枚を同封のうえ、次のところへお申し込みください。

〒657 神戸市中央区八幡通2-1-10

三木記念神戸市立スポーツ会館内

神戸市サッカー協会 078-232-0753

なお、数人分まとめて申し込まれる場合は割引がありますのでご連絡ください。



関正スポーツ

東灘区住吉宮町4丁目6-13 ☎078(821)8449
国鉄住吉駅南側西へ20m

灘スポーツ

灘区倉石通5丁目1-8 ☎078(861)4671
市バス水道筋6丁目上がる100m 東側

塩谷スポーツ

兵庫区大開通7丁目5 ☎078(576)0870
バンドウ化学南

MEN'S SHOP MAC

三宮センター街店 ☎078(391)0895
プレザージュ、トーアロード店 ☎078(391)0896
神戸・新開地店 ☎078(575)7688

ワールドスポーツ

東灘区深江北町4丁目7-3 ☎078(453)2186
阪神深江駅北側信号西

オウビ

中央区琴緒町4-4-5 ☎078(242)3667
国鉄三宮駅北側神戸経理専門学校斜め前(田上ビル1階)

スメラ

湊川店 湊川プラザ2階 ☎078(511)2234
鈴蘭台店 ダイエー西側 ☎078(592)0470

加茂トアロード店

中央区三宮町3-8-8 ☎078(392)0234
国鉄元町駅南側東へ100m

マヤスポーツハウス

灘区森後町1丁目8-8 ☎078(841)8811
国鉄六甲道駅北 兵庫信用金庫六甲支店山側

ヤノ運動用品

本店 中央区三宮町3-8-1 ☎078(391)1121
ファイブ店 中央区三宮町2-7-8 ☎078(331)4578

六甲、長田、白川台、名谷、西明石、高砂、姫路、岡山

本紙は右記の店にもあります